

新 建 換 報

第 337 号

2025. 11

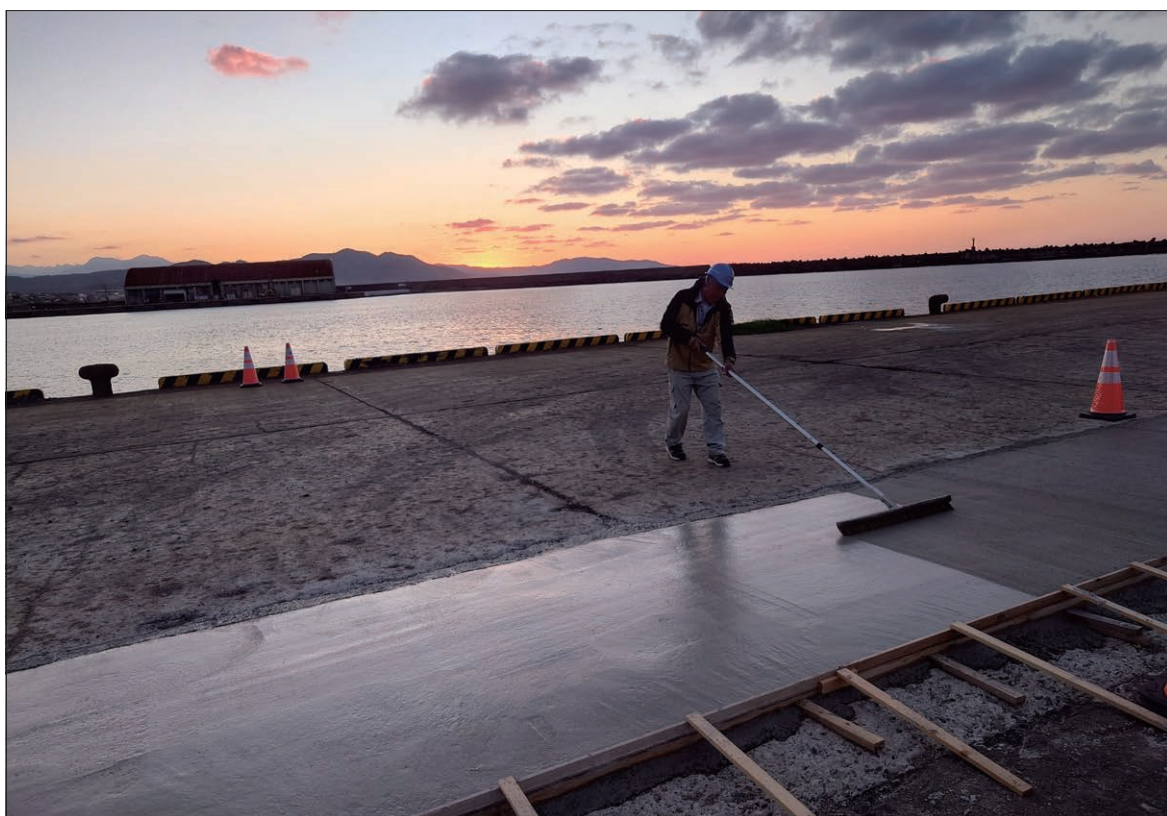
一般社団法人 新潟県建設業協会

〒950-0965 新潟市中央区新光町7-5

TEL 025-285-7111

FAX 025-285-7119

URL <http://www.shinkenkyo.or.jp/>



第29回 建設写真コンテスト

【特 選】 大 島 博 喜 さん

一般社団法人 新 潟 県 建 設 業 協 会

〒 950-0965 新潟市中央区新光町 7-5

TEL 025-285-7111

FAX 025-285-7119

URL <http://www.shinkenkyo.or.jp/>

X <https://x.com/shinkenkyo>

1 北陸地方整備局との意見交換会開催

受発注者の双方が問題点や地域の実情等について意見交換を行い、双方が課題を共有するため、当協会と国土交通省北陸地方整備局との前期意見交換会が6月26日（木）、新潟グランドホテルで開催された。

整備局からは高松局長、加藤企画部長、勝見建政部長、桜田営繕部長、石田統括防災官はじめ整備局幹部が、当協会からは正副会長、専務理事らが出席した。

冒頭の挨拶で、高松局長は能登半島地震、9月の豪雨など災害時の当協会の支援に謝意を表した上で、「国土強靱化実施中期計画が閣議決定され、建設業の安定的経営のためにも、計画的に事業執行を図っていく。」と強調した。働き方改革、生産性向上に関しても、「担い手確保対策に直結する取り組みは待ったなし。連携して進めていきたい」と述べた。

一方、福田会長は「能登半島地震、八潮市の大規模な道路陥没事故など、防災・減災、国土強靱化が重要であり、閣議決定された国土強靱化実施中期計画の事業規模「強」の予算確保については、中央に働きかけていく」と挨拶した。

整備局から令和7年度の取り組み等についての情報提供が行われた後、意見交換となり、防災・減災、国土強靱化予算の確保、入札・契約制度、働き方改革や生産性向上などの意見が出された。

[主な北陸地方整備局との質疑・意見]

- ・ インフラの老朽化対策に必要な予算確保の新たな制度検討
- ・ 国土強靱化実施中期計画の前倒し執行と地域間格差の解消
- ・ 建設業の会社従業員全員の賃金アップ
- ・ 交通誘導員に代わる工事用信号機による省人化と安全確保
- ・ ICT施工の中小企業への普及 など



2 関東甲信越地方ブロック会議開催

関東甲信越地方ブロック会議が10月8日（水）、東京大手町の経団連会館で開催された。当協会からは副会長、専務理事が出席し、国土交通省幹部らと質疑を交わした。

議事に先立ち、主催県である群馬県建設業協会の青柳会長（代読：木下副会長）より挨拶があった後、各県協会より提案のあった、公共工事予算の拡充など9議案について活発な意見交換が行われた。

なお、ブロック会議要望事項は下記のとおり

1. 公共工事予算の拡充について（神奈川県）
2. 建設業の柔軟な働き方について（群馬県）
3. 外国人材受入における地域社会での共生に向けた取り組み等について（新潟県）
4. 生産性向上のためのICT技術者の育成について（山梨県）
5. 熱中症対策に対応した積算基準の見直しについて（長野県）
6. 建設工事における最低制限価格の算定基準率の引き上げについて（千葉県）
7. 建設従事者の適正な賃金確保について（茨城県）
8. 第三次・担い手3法の徹底について（埼玉県）
9. 「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群馬ネ）」の取組み推進について（栃木県）



3 女性部会第27回「女性の集い」開催

当会女性部会「女性の集い」を10月17日（金）、ANA クラウン プラザホテル新潟において、部会員及び会員企業の女性従業員を中心に280名の参加を得て開催した。はじめに、斎藤女性部会長（榊山嘉土建・村上支部）、福田会長から挨拶があり、その後女性部会の活動報告及び事業報告を行った。

記念講演では、英 月 氏（真宗佛光寺派長谷山北ノ院大行事住職）を講師に招き、「私の居場所～あなたがあなたのままで輝く～」と題して講演をいただき、盛大のうちに終了した。

【参加者の声】

- ・県内で女性が働きやすくする活動がこんなにも開催されていることに感動しています。是非続けていたいただきたい。
- ・建設業で働く女性が一堂に集まる機会はあまりないと思うので、貴重な時間をありがとうございました。
- ・講演はすごく共感できる部分があり、良い人に出会った感じがし、参加できてよかった。



4 小学生の工事現場見学会開催

小学校が実施している様々な体験を通して勤労観・職業観を育み、身近な仕事への関心を高めるための「キャリア教育」に協力し、小学生が社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に、新潟県との共催により現場見学会を実施した。信濃川大河津資料館では、越後平野の歴史、分水路の役割、ミニシアターでの映像や模型、展示物などの見学を行った。今年度は、新潟市内23校を実施した。

【見学場所】：信濃川大河津資料館、大河津分水可動堰、洗堰魚道の観察室、大河津出張所操作室

9 月		10月	
中之口東小学校	19名	越前小学校	18名
山潟小学校	64名	新飯田小学校	4 名
茨曾根小学校	18名	潟東小学校	30名
立仏小学校	52名	大通小学校	83名
中之口西小学校	20名	庄瀬小学校	14名
升潟小学校	23名	沼垂小学校	61名
		坂井東小学校	82名
		小林小学校	29名
		坂井輪小学校	99名



【生徒からの感想文】

- ・僕たちが生まれてきたときから大きな洪水が一回もないのは、昔の人達が大河津分水路を何十年もかけて作ったからということがびっくりした。昔の人たちが作ったのに今も僕たちを守ってくれているので、昔の人達の知恵はすごいと思った。
- ・大河津分水ができて、とてもすごい役割をしていることがわかった。特に、新潟市の水害を少なくし、水害を減らしたことで、新潟の米を美味しくし、街の誕生にもなったことがすごいと思った。

5 中学生等「土木出張PR」開催

建設業の将来の担い手を確保、建設業全体のイメージアップを図る目的として、中学生等に建設業（土木）の魅力を伝え、建設産業の社会的役割等について理解を深めてもらうために、新潟県、新潟県建設コンサルタンツ協会、新潟県測量設計業協会、当協会の4団体合同による「土木出張PR」を開催した。



地域別	学校名	開催日	学年	人数	地域別	学校名	開催日	学年	人数
新発田	川東中学校	6/4(水)	2	31	十日町	県立津南中等学校	5/21(水)	2	74
	東中学校	6/17(火)	2	67		津南町立津南中学校	6/2(月)	2	30
	佐々木中学校	6/24(火)	2	22		南中学校	6/4(水)	2	74
	胎内市立乙中学校	7/16(水)	2	27		中条中学校	6/5(木)	2	41
	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	9/16(火)	2	49		松代中学校	6/25(水)	2	11
	県立中条高校	10/3(金)	2	16		十日町中学校	6/27(金)	2	53
新津	新津第一中学校	10/10(金)	2	192	柏崎	下条中学校	7/9(水)	2	20
新潟	石山中学校	6/19(木)	2	125		川西中学校	7/17(木)	2	41
	葛塚中学校	7/10(木)	2	119		松浜中学校	7/11(金)	2	29
	早通中学校	10/3(金)	3	85	糸魚川	北条中学校	9/2(火)	1	12
長岡	県立栃尾高校	6/12(木)	1	31		西山中学校	10/24(金)	2	33
	小千谷市立片貝中学校	6/19(木)	2	30		吉川中学校	5/22(木)	1	19
	秋葉中学校	6/24(火)	2	52	佐渡	板倉中学校	9/24(水)	2	31
	江陽中学校	6/30(月)	2	128		県立上越総合技術高校	10/1(水)	1	40
	東北中学校	7/16(水)	1	68		青海中学校	6/6(金)	2	61
魚沼	小出中学校	6/4(水)	2	80	佐渡	県立糸魚川白嶺高校	10/30(木)	2	25
		10/31(金)	1	72		畑野小学校	6/23(月)	6	34
南魚沼	六日町中学校	6/5(木)	2	110		松ヶ崎小学校	7/10(木)	5・6	4
	大和中中学校	6/27(金)	2	113	佐渡	松ヶ崎中学校	7/10(木)	全	5
	湯沢町立湯沢学園	7/11(金)	3	45		真野小学校	6/26(木)	6	28
十日町	中里中学校	5/20(火)	2	16		県立佐渡総合高校	10/21(火)	2	18

6 高校生の現場見学会開催

若年建設従事者入職促進活動の一環として、県内の建設系学科の高校生を対象に、建設産業に対する理解と認識を深め、建設業の魅力を感じとってもらうことを目的として現場見学会を開催した。

実施日	実施校・見学場所
9月9日(火)	加茂農林高等学校 環境緑地科 2年生38名 ◆国道289号八十里越工事現場
10月15日(水)	新潟工業高等学校 ミライ創造工学科 1年生40名 ◆磐越自動車 宝珠山トンネル工事現場 ◆福田道路(株)機械センター
10月16日(木)	高田農業高等学校 農業土木科 2年生40名 ◆上沼道上広田地区盛土工事現場 ◆三和安塚道路 前池橋下部(その1)工事現場



7 高校生のインターンシップ・デュアルシステム事業を実施

(1) インターンシップ

インターンシップは、学校と産業界が連携し、産業の現場等で生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験を行うもので、将来の生き方や進路を考えるうえで有意義であることから、文部科学省及び国土交通省においても推進している事業。当協会としても若年人材の確保対策の一環として平成11年から協力しており、会員企業の協力を得て実施した。

◎実施概要 ・生徒数 9校63名 ・協力企業数 7支部28社 ・期 間 7月～9月の間（2～3日間）

協力支部	参加校	人数	受 入 協 力 企 業	
村 上	荒川高校	3名	(株)山木組	(1社)
新発田	新発田南高校	32名	(株)石井組、(株)伊藤組、(株)岩村組、(株)小野組、 (株)小池組、(株)小林組、(株)坂詰組、新発田建設(株)	(8社)
新 津	新津工業工高校	2名	横山建設(株)	(1社)
巻	巻総合高校	2名	(株)水倉組	(1社)
十日町	松代高校	3名	(株)高橋工務所	(1社)
上 越	上越総合技術高校	31名	相村建設(株)、(株)牛木組、(株)大栄建設、久保田建設(株)、 (株)高館組、田中産業(株)、田辺建設(株)、西田建設(株)、 (株)野本組	(13社)
	高田農業高校	11名	(株)大島組、(株)上越商会、上新開発(株)、西田建設(株)、 (株)三原田組	
	有恒高校	2名	(株)野本組	
糸魚川	糸魚川白嶺高校	10名	(株)笠原建設、(株)後藤組、(株)谷村建設	(3社)

(2) デュアルシステム

デュアルシステムは、建設系工業高校と地域や産業界が連携し、企業での現場研修を行うもので、工業教育の改善・充実と地域や産業界の人材育成・確保を目指すもので、10日間の現場実習で実践的な職業知識や技能・技術の習得と勤労観・職業観を身に付けるために、会員企業の協力を得て実施した。

◎実施概要 ・生徒数 1校2名 ・協力企業数 1支部1社

・期 間 7月14日～18日、7月28日～8月1日の間（10日間）

協力支部	参加校	人数	受 入 協 力 企 業	
新発田	新発田南高校	2名	(株)小野組	(1社)

8 優秀施工者国土交通大臣顕彰

国土交通省では、現場の第一線で「ものづくり」に直接従事し、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている建設技能者を対象として「優秀施工者国土交通大臣顕彰」を実施している。

令和7年度の顕彰式典が10月28日（火）、文京シビックホールで開催され、452名が「建設マスター」として顕彰された。

当協会からは、下記の方を推薦し顕彰された。

◆(一社)新潟県建設業協会 推薦

(株)北越トラスト（小千谷支部） 岡 田 哲 也

◆(一社)新潟県建設産業団体連合会 推薦

(株)官社（新潟左官工事業協同組合） 齋 藤 朗

9 「建設業退職金共済制度加入促進強化月間」を実施

建設業退職金共済事業本部では、建設労働者の福祉の増進を目的として、毎年10月を「建設業退職金共済制度加入促進強化月間」と定め、各都道府県支部と連携し、建退共制度の普及・促進を図っている。

この強化月間事業の一環として、建退共制度の普及に貢献した協力者を表彰しており、次の当協会員2社が優良事業所として建退共理事長表彰を受賞した。

- ・(株) 関 根 組 (白根支部)
- ・(株) ヨ シ ケ ン (小千谷支部)

また、昨年度に新設された本部推薦枠で電子ポイント方式の普及に貢献した企業として、次の会員が受賞した。

- ・福 田 道 路 (株) (新潟支部)



10 勉強会・講習会開催報告

(1) 「PC環境と工事ファイルの整理保管セミナー」開催 (CPDS認定講習会: 7 unit)

会員各社のCALSシステムの運用に際し、最もITスキルが要求される現場職員の方を対象に、電子納品を行うまでのデータの維持・管理、パソコンの標準スキルの確認、実際の現場事務所を想定したネットワークとデータの原本管理等の知識の習得を目的に、新潟県建設産業団体連合会との共催により、7月10日(木)・11日(金)新潟会場24名、7月24日(木)・25日(金)長岡会場17名、計41名の参加を得て開催した。

【開催内容】

- 主な内容
 - ・電子納品に必要なスキルとは
 - ・データ消失等へ備えるためのハードディスクの管理
 - ・社内でも統一して管理できる「フォルダ名・ファイル名のつけ方」
 - ・ネットワークの利用
 - ・ファイル共有の基本とクラウドサービスを活用した現場での共有方法
 - ・電子納品を行うための注意点

(2) 「建設廃棄物の適正処理に係る講習会」開催 (CPDS認定講習: 4 unit)

一般社団法人全国建設業協会・一般社団法人日本建設業連合会等で組織する建設6団体副産物対策協議会と、建設マニフェスト販売センターとの共催により、建設廃棄物の適正処理とリサイクル推進を目的とした講習会を、8月26日(火)新潟県建設会館において127名の参加を得て開催した。

【開催内容】

〔第1部〕 環境関連法体系と建設廃棄物及び排出事業者責任について

講 師: 笠井 賢一 氏 (前 (株)竹中工務店 安全環境本部 本部長)

〔第2部〕 建設発生土に係る法規の改定について、建設リサイクル法について及び廃棄物の委託処理について

講 師: 前田 陽一 氏 (元 西松建設(株) 安全環境部 地球環境部長)

〔第3部〕 マニフェストによる管理について

講 師: 星野 由季巳 氏 (建設マニフェスト販売センター 総務課長)

(3) 建設業経営講習会開催 (CPDS認定講習: 2 unit)

会員企業の健全な経営に資するため、これからの企業戦略を立てるうえで、企業の経営状況の把握・分析に必要な各種情報の提供を目的に、東日本建設業保証(株)新潟支店及び新潟県土木施工管理技士会との共催により新潟県建設会館において開催した。

【講演内容】

- 開催日 令和7年9月1日(月) ○参加人数 102名
- テーマ 総合評価の技術提案、高評価を得る作成手法と内容
- 講 師 (株)建設経営サービス 提携講師 黒 図 茂 雄 氏

- | | | |
|-------|------------------|-----------------|
| ○主な内容 | ①高評価される技術提案の概要 | ②発注者が求める技術提案の範囲 |
| | ③先入観を持たない情報収集と整理 | ④技術提案の効果のポイント抽出 |
| | ⑤効果的で高評価のポイント | ⑥技術提案と NETIS 技術 |
| | ⑦技術提案の構成 | ⑧添削事例 |

(4) 「合同企業セミナー」開催

県内の建設系の学生を対象に、建設業の役割や魅力などについて理解を深めてもらい、将来の進路を考えるうえで参考としてもらう目的で、当会が参画する北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（新潟県部会）の主催、当会の企画・運営により、10月1日（水）～2日（木）新潟市産業振興センターにおいて、9社の参加を得て開催した。

当日は、短大・高専・高校の計3校、約80人の学生が来場し、各企業の担当者から業務概要や特徴のほか、地域建設企業の使命、やりがいについて説明があり、学生は熱心に聞き入っていた。

〔セミナー参加校〕

短大：新潟職業能力開発短期大学校

高専：長岡工業高等専門学校

高校：新潟県央工業高等学校



(5) 「工事現場見学・技術力向上研修会」開催（CPDS認定講習：4 unit）

新潟県建設産業マンパワーアップ総合支援事業を活用し、10代から30代までの若手建設従事者を対象に、技術・技能及び現場管理能力等の向上を目的として、当会と新潟県土木施工管理技士会との共催により、10月8日（水）上越、9日（木）長岡、10日（金）新潟の3会場において、計56名の参加を得て開催した。

〔研修内容〕

「若手技術者の現場管理能力アップ研修」

【講 師】 ㈱建設経営サービス 提携講師 黒岡 茂雄 氏

（クロズテック㈱代表取締役）

〔現場見学〕

- ・上越会場：①一級河川矢代川河川改修事業護岸工事
②一般国道253号三和安塚道路（仮称）神田高架橋上部工（その2）工事
③二級河川柿崎川河川改修事業A2橋台工事
- ・長岡会場：①一般国道352号萱峠バイパス上部工工事
②一級河川渋海川広域河川一級（防災安全・補正）
- ・新潟会場：①鳥屋野潟河川改修工事
②福島潟河川改修工事



(6) 「建設労働者に関する助成金説明会」開催

建設事業主等が行う、建設労働者の雇用環境の改善や建設労働者の技能向上を図るための取り組みを行った場合の助成金等について、10月23日（木）新潟県建設会館において24名の参加を得て開催した。

【開催内容】

- | | |
|-------|-----------------------|
| ○講 師 | 新潟労働局職業対策課助成金センター 担当者 |
| ○主な内容 | ①人材開発支援助成金 |
| | ②トライアル雇用助成金 |
| | ③キャリアアップ助成金 |
| | ④特定求職者雇用開発助成金 |
| | ⑤人材確保等支援助成金 |



11 青年部会活動報告

(1) 北陸建設青年会議「令和7年度総会」開催

令和7年度の会長県は引き続き富山県となり、令和6年度事業報告・収支決算報告並びに令和7年度事業計画案・収支予算案等が原案のとおり承認された。

総会后、来賓の北陸地方整備局 加藤企画部長から「最近の北陸地方整備局の取組について」と題して講演をいただき、盛会裡に終了した。

○日 時 : 8月28日(木)

○会 場 : ホテルグランテラス富山

○出席者 : 北陸地方整備局 … 加藤企画部長、山本企画調査官、富山県内各事務所長 計6名
富山県 … 金谷土木部長
(一社)富山県建設業協会 … 大橋会長、加藤専務理事、松原常務理事
東日本建設業保証(株) … 今関富山支店長
北陸建設青年会議 … 36名(各県事務局含む)

○議 題 : (1) 令和6年度事業報告並びに収支決算報告について
(2) 令和7年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
(3) 役員の選任について

○講 演 : 「最近の北陸地方整備局の取組について」 企画部長 加藤 智博 様



(2) 青年部会「県土木部技監との意見交換会」開催

地域において課題となっている点や各支部での取組等について、青年層の視点から官民で認識を共有し、主に技術管理に関する話題を中心に課題解決に向けたヒントを探ることを目的として、県土木部との意見交換会を下記の通り開催した。

○日 時 : 令和7年9月3日(水) 15:30~17:00

○会 場 : 新潟県建設会館 2階「中会議室」

○出席者 : 県土木部 … 中川技監兼政策監、
長谷川技術管理課長、山崎企画調整室長
青年部会 … 15名

○議 題 : 新潟県土木行政の最近の話題
情報提供「見積書による予定価格決定方法の変更(土木、港湾)について」
担い手の確保及び働き方改革、除雪業務、熱中症対策、諸制度等への要望 他



12 女性部会活動報告

女性部会では、「交流の場を持つ」ことを目的に、会員企業女性職員を対象に7月23日(水)新潟県建設会館において120名が参加した。社外の方々との交流を含め、さまざまな場で活躍されている女性職員の活躍状況や職場環境などの課題、女性同士の横のつながりの強化、世代・役職などの垣根を越える有意義な時間となった。また、カラーバリエーションカードを使用したワークショップでは、自分の知らない価値観を知れたことなど、参加した全ての方から大好評であり盛会に終わった。

○講 師 中川 千恵 氏(小泉商店OKYa 代表)

○テ ー マ 働く意味を考え、「自分らしさ」でストレス発散!



会員の動き (敬称略)

1 横山常任理事「国土交通大臣表彰」受賞

令和7年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰において、当会の横山和彦常任理事（魚沼支部・新潟永和建设㈱代表取締役）が7月10日付で受賞した。

同氏は、平成24年5月に当会理事に就任、協会活動の中核業務に参画し、令和2年5月から今日まで常任理事を務め、協会活動・運営の活性化に努めるとともに、県内建設業発展の中心的役割を果たし、建設業の振興・発展に尽力している。

また、魚沼佐渡支部長として、支部会員の団結と親睦の要を説き、同業者の結束に努めるとともに、支部会員と協会本部の連携強化に努めている。



横山常任理事

2 退会会員

9月30日付 共和土建㈱（長岡） R6.10.31 現在会員数：398社

3 代表者変更（新任者）

5月29日付	㈱見附舗道（三条）	代表取締役	佐藤 貴代志
6月23日	㈱松井組（三条）	代表取締役	松井 峻
6月25日	㈱本間組（新潟）	代表取締役社長	奥村 雄二
9月1日	㈱小池組（新潟田）	代表取締役	小池 淳実
9月25日	㈱やまいち建設（上越）	代表取締役	坂井 満月
11月1日	㈱中央建設（三条）	代表取締役	酒井 文男

4 住所変更（新住所）

5月13日付 真野建設興業㈱（佐渡） 〒952-0318 佐渡市真野大川387-1
6月16日 ㈱吉原組（長岡） 〒940-8641 長岡市渡里町6-4

試験案内

令和7年度 建設業経理検定試験（下期試験）

建設業経理士検定試験（1級・2級）／建設業経理事務士検定試験（3級・4級）

- ◎試験日 令和8年3月8日（日）
- ◎試験会場 新潟県建設会館・新潟県トラック総合会館・興和ビル（予定）
- ◎受験資格 どなたでも、希望の級を受験することができます。
ただし、1級（科目）と他の級の同日受験はできません。
- ◎申込期間 11月11日（火）～12月11日（木）（消印有効）
- ◎申込方法 インターネット申込
- ◎問合せ先 （一財）建設業振興基金 経理試験課
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12
TEL03-5473-4581（土・日・祝日除く 9：00～12：00、13：00～17：30）
<https://www.keiri-kentei.jp>

■東日本建設業保証(株)からのお知らせ■

保証証書の電子化【電子保証】のご案内

本年度より阿賀野市でも保証証書の電子化が始まりました。
対象となる工事・委託を受注した際は、当社の「電子保証」を是非ご利用ください。



『電子保証』のおすすめポイント



『電子保証』をご利用いただける発注者

新潟県内の自治体	新潟県、新潟市、長岡市、上越市、三条市 柏崎市、小千谷市、妙高市、佐渡市、阿賀野市
国・その他	国土交通省、農林水産省、東日本高速道路株式会社 ほか ※詳細は右上のQRコードまたは弊社HPでご確認いただけます。



『電子保証』を利用するには？

インターネット保証サービス「ネットデスク」の登録(ID)が必要です。
IDをお持ちでない場合、取得が必要です。お手数ですが、保証会社へご連絡ください。

「ネットデスク」とは


前払金保証や契約保証のお申込み、前払金使途内訳明細書の作成、提出などのお手続きをインターネット上で行うことができるサービスです。

操作方法についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

(登録費用、利用料はかかりません)



お問い合わせ先

 東日本建設業保証株式会社 新潟支店

新潟市中央区新光町7番地5 新潟県建設会館3階 TEL025-285-7151

確かな安心へ全力応援。



割戻金の支払いが
始まっています。

令和6年度分 28.52%、令和7年度8年度も支払いは確定しています。

- 労働者と企業のリスクを同時にカバー
被災者補償(労働者福祉)と諸費用補償(企業防衛)
- 手厚い補償 保険金区分合計最高5,000万円
- 契約者割戻金制度により掛金負担が軽減

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度 制度創設55周年

今すぐ、
ご加入を!

令和7年 加入促進月間
10月1日→11月30日

経営事項審査において15点の加点になります。

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病1級～3級)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

さらに新しくなった! →
建設共済保険制度の10のポイント



詳しくは HP をご覧ください!

建設共済保険

検索

公益財団法人
建設業福祉共済団
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門平方タワー11階
■取扱機関: (一社) 新潟県建設業協会

受注状況

(9月末)元請総計 3,806億円 前年度比16.3%増

◎ 9 月分の元請受注状況

前年同月比は、公共は土木4.4%・8 億円の増、建築71.2%・30億円の減で、計10.2%・22億円の減。民間は土木243.8%・190億円の増、建築39.8%・165億円の減で、計5.0%・24億円の増。

9 月分計は0.3%・2 億円の増となった。

◎ 9 月末累計

前年同期比は、公共土木2.9%・29億円の増、建築25.1%・75億円の減で、公共計は3.5%・45億円の減。民間土木64.7%・262億円の増、建築20.2%・316億円の増で、民間計は29.3%・578億円の増。

9 月末累計は16.3%・533億円の増となった。

◎地区別

土木：県内の公共は、中越1.3%・4 億円の増、下越19.0%・51億円の増、上越・佐渡はふるわず、県内公共計4.3%・36億円の増。

民間は、中越0.9%・1 億円の増、下越202.5%・201億円の増、佐渡307.4%・7 億円の増、上越はふるわず、県内民間計81.3%・207億円の増。

県外の公共は、3.5%・6 億円の減、民間は36.6%・55億円の増。

建築：県内の公共は、全域ふるわず、県内公共計27.1%・77億円の減。

民間は、佐渡1.7%・0.2億円の増。上越・中越・下越はふるわず、県内民間計9.1%・84億円の減。県外の公共は、24.1%・3 億円の増、民間は62.3%・400億円の増。

(前年同期比)

R7.9月累計地区別受注状況表 (R6：R7対比)

(単位：百万円)

			上 越	中 越	下 越	佐 渡	小 計	県 外	計
土	元 請	民 間	▲9.4 2,796	0.9 12,251	202.5 30,082	307.4 937	81.3 46,066	36.6 20,480	64.7 66,546
		公 共	▲2.9 17,584	1.3 32,969	19.0 31,926	▲30.1 3,330	4.3 85,809	▲3.5 17,607	2.9 103,416
		計	▲3.9 20,380	1.2 45,220	68.6 62,008	▲14.5 4,267	22.5 131,875	14.6 38,087	20.6 169,962
	下 請	民 間	17.4 2,856	▲15.7 5,647	▲7.8 5,014	▲53.0 142	▲8.2 13,659	24.7 5,490	▲0.7 19,149
		公 共	▲10.3 4,652	6.4 7,017	43.8 7,159	▲26.3 1,080	9.2 19,908	42.2 7,738	16.8 27,646
		計	▲1.4 7,508	▲4.8 12,664	16.8 12,173	▲30.9 1,222	1.4 33,567	34.3 13,228	9.0 46,795
建	元 請	民 間	▲42.2 7,102	▲8.4 29,680	▲1.1 46,028	1.7 1,351	▲9.1 84,161	62.3 104,249	20.2 188,410
		公 共	▲22.6 1,782	▲30.8 9,962	▲23.5 8,876	▲15.1 225	▲27.1 20,845	24.1 1,420	▲25.1 22,265
		計	▲39.1 8,884	▲15.3 39,642	▲5.6 54,904	▲1.1 1,576	▲13.3 105,006	61.7 105,669	13.0 210,675
	下 請	民 間	▲58.6 2,406	145.1 4,742	▲25.8 3,481	▲70.2 150	▲16.7 10,779	48.1 4,935	▲3.4 15,714
		公 共	▲65.9 72	157.7 706	1,666.4 9,874	65.0 165	845.5 10,817	▲97.3 34	355.4 10,851
		計	▲58.9 2,478	146.6 5,448	154.4 13,355	▲47.8 315	53.3 21,596	8.7 4,969	42.4 26,565
合	元 請	民 間	▲35.6 9,898	▲5.9 41,931	34.8 76,110	46.9 2,288	10.4 130,227	57.5 124,729	29.3 254,956
		公 共	▲5.1 19,366	▲8.6 42,931	6.2 40,802	▲29.3 3,555	▲3.8 106,654	▲1.9 19,027	▲3.5 125,681
		計	▲18.2 29,264	▲7.3 84,862	23.2 116,912	▲11.3 5,843	3.5 236,881	45.8 143,756	16.3 380,637
	下 請	民 間	▲36.2 5,262	20.3 10,389	▲16.1 8,495	▲63.7 292	▲12.1 24,438	34.7 10,425	▲1.9 34,863
		公 共	▲12.5 4,724	12.4 7,723	207.6 17,033	▲20.5 1,245	58.6 30,725	16.3 7,772	47.8 38,497
		計	▲26.8 9,986	16.8 18,112	62.9 25,528	▲35.2 1,537	16.9 55,163	26.2 18,197	19.1 73,360

上段：前年同期比（%）

(新建協報 2025.11)